

**TOHO GAKUEN
SCHOOL OF MUSIC
2025**

目次

プロローグ 3

桐朋の教育理念 10

学びの三本柱

鍛える（ソルフェージュ、音楽理論） 11
究める（専攻実技、副専攻、選択副科） 12
超える（オーケストラ、室内楽・二重奏ソナタ） ... 13

桐朋の学び

ピアノ専攻 16
弦楽器専攻 17
管楽器専攻 18
打楽器専攻 19
ハープ専攻 20
古楽器専攻 21
声楽専攻 22
指揮専攻 23
作曲専攻 24
音楽学専攻 25
カリキュラム 26
指導陣 28
特別レッスン 32

桐朋生のキャンパスライフ

桐朋生の1日 35
活躍する桐朋生 38
コンサートスケジュール 40
キャンパスガイド 42

桐朋生の進路・進学

高校卒業後の進路 45
大学卒業後の進路 46
留学について 47
大学院への進学 48
特待生・奨学金制度 49
入試情報 50

アクセスマップ 52

楽譜と、 それぞれの音楽と

先人たちが紡いできた音楽を

どのように受け止め、どう向き合いながら形にしていくのか。

桐朋学園で教鞭を執り、音楽の世界で活躍する3名。

楽譜に刻まれた歩みの一端をのぞいてみよう。

「側にいて学んだ生き様」

—— 沼尻 竜典

物ごとの本質を見極め、ニセモノは許さない。大学時代に師事した三善晃先生は、ご自身にも厳しく生きた作曲家でした。私が大学2年次のときに初演された、『童声合唱とオーケストラのための「響紋」』は戦争の惨禍を描いた先生の代表作ですが、音によって表現される戦争は、言葉による描写をはるかに超えた壮絶さとリアリティをもって、聴く者を圧倒します。作曲中はレッスン

[三善 晃作曲／童声合唱とオーケストラのための「響紋」]「響紋」は大編成のオーケストラに児童合唱が加わる壮大な作品で、練習時間も経費もかかるのですが、現代の音楽としては破格の演奏回数を誇ります。それだけ作品の魅力が大きいということでしょう。子供たちが歌う「かごめかごめ」にオーケストラの咆哮が容赦なく襲いかかり、最後は「うしろのしょうめん だあれ?」という問いかけで終わります。

三善 晃：童声合唱とオーケストラのための「響紋」
全音楽譜出版社

が少なかったのですが、たまにお会いする先生の言葉や表情からは、まさに命を削って作曲されていることが伝わってきました。作曲だけでもお忙しいのに、日本の音楽界をいかに良くするか、日々心を砕いていた先生の側にいることができた4年間のおかげで、自分の進むべき道に迷いがなくなりました。

命を削って 音を紡ぐ

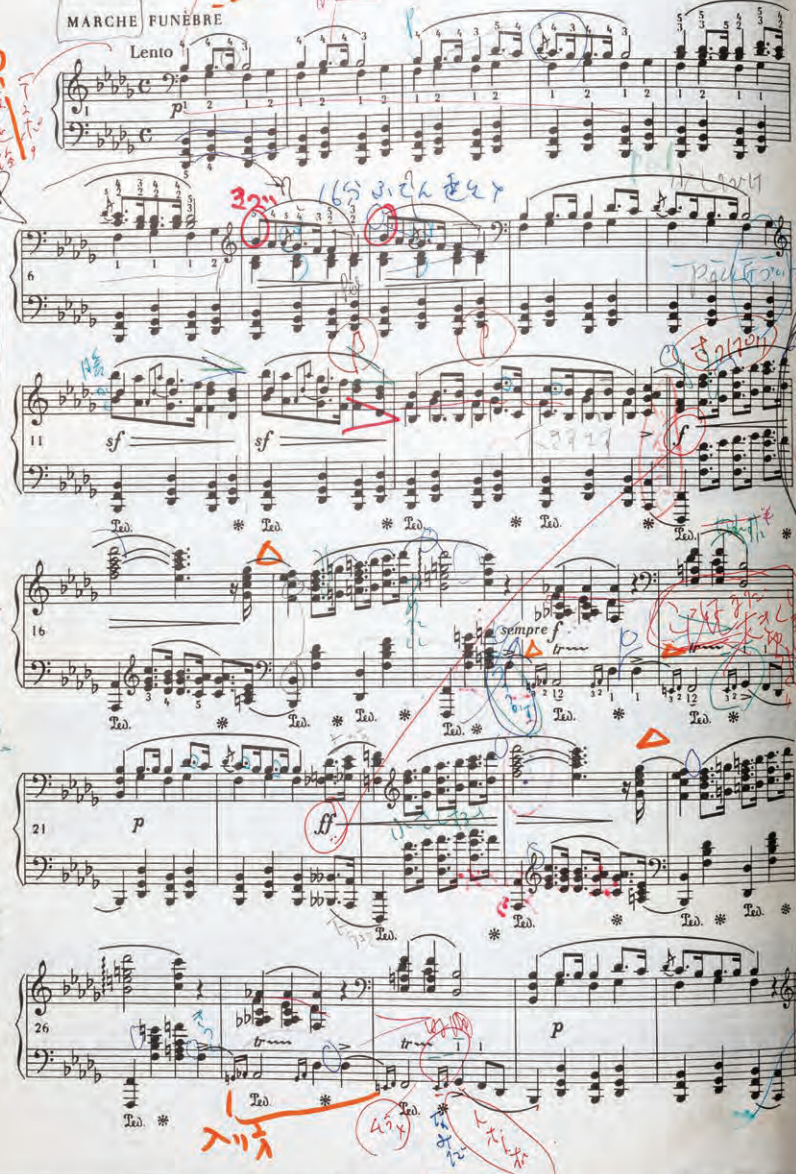
沼尻 竜典 (ぬまじり りゅうすけ)
指揮者

桐朋女子高等学校(男女共学)ピアノ科、桐朋学園大学作曲科、ベルリン芸術大学指揮科卒業。第40回ブザンソン国際指揮者コンクール優勝後、世界各国で指揮活動始める。2017年紫綬褒章受章。現在、神奈川フィルハーモニー管弦楽団音楽監督。桐朋学園大学教授。



MARCHE FUNÈBRE

Lento



[ショパン作曲/ピアノ・ソナタ第2番変ロ短調 Op.35 第2楽章 葬送行進曲] これはショパン国際コンクールに向けた練習で使った楽譜。楽譜の書き込みはレッスン時に二宮先生が書いたもの。「赤ちゃん」や「肉」、「♡」などの書き込みも。ペンの色はレッスンの日によって異なり、その日の私の状況によって様々なアドバイスが書き込まれています。

パデレフスキ編ショパン全集 VI (日本版) ソナタ
アーツ出版

「教えを基に、自らの表現を追究する」

—— 関本 昌平

中学生のときから師事していた二宮裕子先生の指導は、とにかく細かい。リズムやタイミングの一つひとつに一切妥協せず、一段進むのに数時間かかることも。でも、先生の弾き方を完璧にコピーすることがレッスンの目的ではありません。一音一音、異なる音の出し方を習得することで自分の中の「道具」を増やし、別のパートや

楽曲に応用させることが重要なのです。そして先生の解釈をなぞるだけではなく、作曲家の人生や歴史的背景を深く知り、自分なりのしっかりとした考えを持つ。私が指導する際も自分の信じる表現にたどり着いた生徒がいたら、本人を尊重して自由に演奏させています。彼らにも音楽をあらゆる角度から追究してもらいたいです。

師の教えを昇華させ、次世代に

繋いでいく

関本 昌平 (せきもと しょうへい)
ピアニスト

桐朋女子高校音楽科 (男女共学) 在学中に第5回浜松国際ピアノコンクール第4位。20歳で第15回ショパン国際ピアノコンクール第4位。稲垣千賀子、ミハイル・ヴォスクレセンスキー、二宮裕子の各氏に師事。2023年より本学准教授。

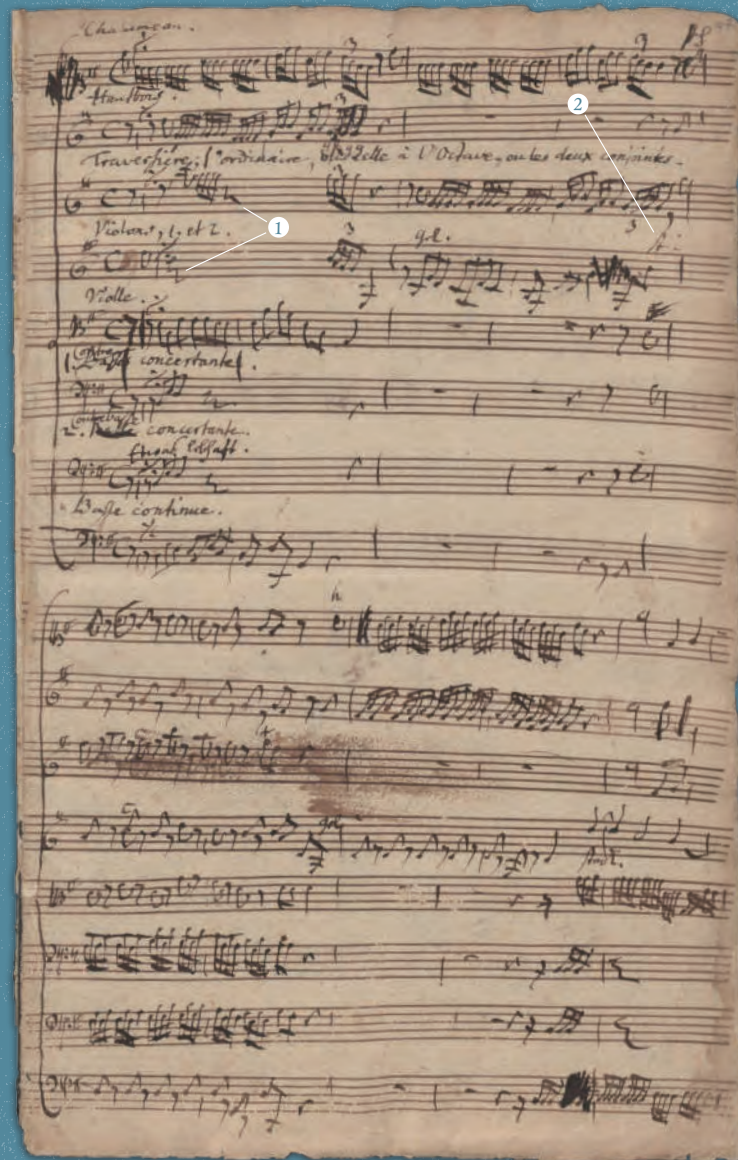


古文書の山から現代に音楽を 甦らせる

「作曲家が遺した
ものを、音楽に
変えるために」

—— 佐藤 康太

世界には、ほとんど誰も触れてきていない、歴史に埋もれた楽曲がたくさんあります。そのような作品を発掘し、現代の音楽家が演奏できるよう楽譜を作り直すのが、私の取り組む「楽譜校訂」です。基になるのは、自筆譜や初版譜など、作曲家自身やその周囲の人々が遺したものと。ところがそういった歴史的な楽譜には、判読の難しい箇所がたくさんあります。私たち校訂者は、それらを学術的な根拠に基づいて解説し、現代の演奏家が使える楽譜へと落とし込んでいきます。そうしてできた楽譜に、演奏家の解釈が加わって音が鳴り、作曲家の遺したものは初めて「音楽」になるのです。ヨーロッパの古い図書館に眠る、謎めいた古文書が、音楽に生まれ変わる瞬間——そこに立ち会うことは、楽譜を作る者にとっての大きな喜びです。



【テレマン作曲／Concert à 9 parties, ca.1761（左ページ：自筆譜、右ページ：校訂楽譜）】この作品は管楽器とコントラバスが独奏楽器として活躍する非常に珍しい編成の曲です。

Staatsbibliothek zu Berlin – Preußischer Kulturbesitz
(<http://resolver.staatsbibliothek-berlin.de/SBB00022A3C00000049>)

校訂のポイント

① 原本の3段目、フルートのパートでグニャグニャッと書かれているのは「あのパートと同じだよ」と示す“略記”。でも、当時の楽譜のルールや作曲家の癖を知っていないとどのパートと同じか分かりません。文献などからそれを読み解き、誰でも分かるように書き直しています。

② 譜面にある「gel」と「st」は、当時のドイツ語の強弱表記。現代の演奏家には「f（フォルテ）」「p（ピアノ）」の方が分かりやすいのですが、ここにはドイツ人であるテレマンの愛国精神が表れているため、あえて書き換えずに残しました。

佐藤 康太（さとう こうた） 音楽学者

慶應義塾大学後期博士課程退学。ドイツ学術交流会奨学金を得てハレ大学に留学。同博士課程修了（音楽学）。主な研究領域はテレマンをはじめとする18世紀ドイツの教会音楽とオペラ。批判版楽譜の校訂と出版にも力を入れている。



桐朋の教育理念

【ディプロマ・ポリシー】

以下の能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生は、卒業が認定されます。

- I. 専門分野を究めるための表現力を有し、主体的に学び続ける意欲を持っている
- II. 専門を支える基礎力としての知識と技能を有し、よいものを探求して見つけ出す能力を持っている
- III. 柔軟で汎用的な視点を持ち、今日的な課題について適切な判断ができる
- IV. 幅広い音楽文化に関心を持ち、専門の枠を超えて新しい音楽文化を創造できる

桐朋学園音楽部門の歴史は、1948年、「子供のための音楽教室」開設から始まります。その教育は、幼児期の自然な歌、あるいは身の回りの音と戯れる喜びから発露する表現への欲求をすくい上げ、早期音楽教育の出発点として位置づけようとする試みでした。「子供のための音楽教室」はその後、教室に通う子供たちの成長に応じて高校、大学、大学院へと展開し、早期教育の成果を一貫した教育理念のもとで発展させる場として、今日まで多くの

優れた音楽家を育成してまいりました。

本学の教育は、専攻実技や合奏教育を中心に、ソルフェージュや音楽理論などの専門科目、語学科目、一般教養科目を配し、これら相互関連の総体を学生・生徒の音楽形成の場として捉えています。なかでも、音楽的感性を鍛える「ソルフェージュ」、表現の可能性を究める「実技」、他者と出会い、自己の枠を超える「合奏」の3つを教育の柱として、柔軟で開かれた教育を実践していきます。

鍛える

究める

超える

鍛

究

超

鍛える

形のない「音」を捉え、使いこなすために不可欠なソルフェージュ。桐朋のソルフェージュ教育は、「音楽する耳」を鍛えます。訓練された繊細な聴覚は、和声法などの音楽理論に裏打ちされることで精度を増し、客観性を獲得します。

す。自身の音を聴き、的確に批評できる耳が、力強く説得力のある表現を生み出すのです。ソルフェージュ教育によって育まれた「音楽する耳」は、生涯を通じて音楽家としての成長を支えてくれるでしょう。



響きの細部を捉える
「耳」をつくる

【ソルフェージュ】

ソルフェージュ教育は、桐朋建学のルーツといえるものです。高校と大学初級では、週2回の授業で基礎力の定着に十分な時間をかけ、大学中級以上では、教員の個性と専門性がより際立つ講座を展開します。基礎を重視する指導がその後の大きな成長を促し、音の表情の細部を余さず捉え、分析する耳を育てます。



音楽家として
必要な理論を身につける

【音楽理論】

音楽理論を学び、音楽の構造や手法を知ること、一つひとつの音の意味を正確に捉えること、音楽を言語のように組み立てることが可能になります。音楽理論に精通することで得られる作品に対する深い理解は、音楽表現の純度を高め、バランス感覚を鍛えます。それが聴衆に感動を与える音楽を生み出します。

鍛

究

超

究める

極めて実践的な実技教育ですが、そこで示されるのは音楽を究める道を歩むための指針です。「音楽を究める道」とは、日々の生活、日々の学びによつて築かれます。音楽の探究に終わりはありません。

桐朋の教育の基幹は、一対一の個人指導で行われる実技教育です。これは、学生・生徒を自立した音楽家として認め、主体性を尊重することによつて、「訓練」ではなく「教育」と呼べるものになります。ここで行われるのは



開かれた学びの場で 個性を伸ばす

【専攻実技】

原則として週1回60分の個人レッスンが行われ、高校から大学、大学院まで、同一教員による継続的な指導を基本とします。実技試験は年2回行われ、コンサートホールでの卒業試験は一般公開されます。内外の著名な音楽家を招聘して行う公開レッスンや公開講座、マスタークラスなど、研鑽の機会も多く用意されています。

二つの専攻で キャリアの幅を広げる

【副専攻】

副専攻は、主専攻以外の実技を主専攻同様に学ぶことのできる制度で、大学生を対象としています。希望者は試験を受け、合格すれば大学1年次から3年次のいずれからでも受講できます。レッスンは週1回60分。4年次には卒業試験があり、修了要件を満たせば「副専攻修了証」が授与されます。

興味を育て可能性を広げる

【選択副科】

在籍年次に関わりなく高校生から大学生まで履修可能。専攻以外の実技レッスンを受講することができます。レッスンは週1回30分（声楽は20分）。積極的な学びが視野を広げます。なかでも本学の副科指揮は、優れた指揮者を多く輩出していることで知られています。専攻実技同様の充実した教育が、新たな可能性を拓きます。

鍛

究

超

超える

他者の奏でる「音」に耳を澄まし、自己の「音」と呼応させ音楽をつくり上げるアンサンブル。楽譜を深く読み解き、音程やアーティキュレーション、リズムなどを緻密に合わせ、あるいは主張し、音楽を形づくります。本学創始者の一人、

齋藤秀雄先生により始められた「桐朋学園オーケストラ」に代表される合奏教育は、実技教育と並んで桐朋の学びの主軸となっています。仲間とともにつくる音楽は、個人の表現の枠を超え、かけがえない音楽体験となります。



伝統のオーケストラ教育で 合奏技術を磨く

【オーケストラ】

オーケストラの授業では、専攻別アンサンブルで合奏技術の基本やオーケストラ・スタディなどを学んだのち、フルオーケストラによる実習に進み、基礎から段階的に修得します。これらの合奏教育は、高校から大学まで一貫したカリキュラムに沿って行われます。これまでに国内外のオーケストラに在籍する楽団員を多数輩出しています。



仲間とともに 音楽をつくり上げる

【室内楽・二重奏ソナタ】

履修希望者は自主的にグループを編成し、年度初めに申請します。3人以上であれば楽器編成に特別な制約はなく、室内楽と2台ピアノでは高校生と大学生がグループを組むこともできます。年間10回以上のレッスンを経て年度末試験を受け、成績優秀なグループは翌年度の春に開催される室内楽演奏会に出演することができます。



桐朋の学び

桐朋の教育は、個の尊重が大きな特色です。
のびやかな学習環境が、個性の発露と個人の
自立を促します。音楽への情熱を支えに日々
模索し、自ら道を切り拓き、目指す音楽を創り
出してゆく強い精神力を育みます。

ピアノ専攻	16	指揮専攻	23
弦楽器専攻	17	作曲専攻	24
管楽器専攻	18	音楽学専攻	25
打楽器専攻	19	カリキュラム	26
ハープ専攻	20	指導陣	28
古楽器専攻	21	特別レッスン	32
声楽専攻	22		

ピアノ専攻

Piano Course



国際的に活躍するピアニストを数多く輩出しているピアノ専攻。ソロはもちろん、室内楽や伴奏などの様々な演奏形態を、レッスンや授業を通じて体系的に学ぶことができます。アンサンブルの機会が豊富にあることも魅力のひとつ。高校生から大学院生まで、個性ある仲間たちと楽しみながらも妥協せずに音楽を創っていくことは、何にも

まさる大きな喜びです。また、海外の著名な音楽家による特別レッスンや公開講座、学内外の演奏企画、ソロやコンチェルトのコンペティションなど、多彩なプログラムとチャレンジの場を用意しています。本学での学びを通して、一生音楽を愛し、それを人々に伝えることができる豊かな感性と魅力あるピアニストを育てていきます。

Focus

豊富な演奏の機会で 自分に相応しいレパートリーを確立

「桐朋 木の香りコンサート」や学内のコンペティションなど、多くの演奏機会に恵まれています。また、年2回の試験課題は、様々な時代や様式の作品を網羅。ピアノ協奏曲も含めた多様な楽曲を学ぶことで、膨大なピアノ作品のなかから自分に相応しいレパートリーを確立できるよう工夫されています。

弦楽器専攻

Stringed Instrument Course

〈ヴァイオリン／ヴィオラ／チェロ／コントラバス〉



弦楽器専攻では、自由で開かれた校風のもと、個性を大切に伸ばす教育を実践しています。経験豊富な指導陣が個々の可能性を導き出し、スケールの大きな演奏家へと育てます。さらに、国内外の音楽家を招聘して行うマスタークラスをはじめ、貴重な学びの場を多数用意。室内楽やオーケストラなど、アンサンブルのカリキュラムも充実し

ています。アンサンブルの授業やレッスンでは、合奏のための技術や奏法、リハーサルの方法などを基礎から指導。学年や専攻の異なる仲間とともに一つひとつ音を創り上げてゆく時間は、豊かな表現力を養うための糧となります。それは同時に、助け合い、協力し合う仲間同士の一体感が生み出される特別な経験となるでしょう。

Focus

実践的なプログラムで オーケストラを基礎から学ぶ

高校と大学のいずれから入学しても、初めに楽器別の合奏でアンサンブルの基礎を学びます。高校3年次から大学までの5年間、または大学からの4年間は、高大混成のオーケストラで合奏の技術を基礎から修得。基本的なレパートリーから高難度の作品まで、著名な指揮者のもとで段階的に実習します。

管楽器専攻

Wind Instrument Course

〈フルート／オーボエ／クラリネット／ファゴット／サクソフォン／ホルン／トランペット／トロンボーン／ユーフォニウム／チューバ〉



打楽器専攻

Percussion Instrument Course

〈パーカッション／マリンバ〉



高校から大学までの期間は、身体的にも精神的にも大きく成長する大切な時期。それは管楽器を学ぶ上でも重要な意味を持ちます。実技指導では、個性を尊重するとともに、演奏の基礎となるソルフェージュを重視。徹底した基礎教育は、技術を向上させるだけでなく音楽そのものへの理解を深め、自ら探究する力を育みます。さらに、

オーケストラをはじめ、木管・金管五重奏など各種編成のアンサンブルのための講座を用意。多様な形態のアンサンブルを効率よく学び、学内外で行われるコンサートへの出演によって、管楽器奏者にとって大切な合奏の技術を実践的に修得します。音楽家として多くの経験を重ねてきた指導陣が、学生たちの表現への意欲を引き出します。

Focus

多彩なアンサンブルを学び、 楽器への理解を深める

編成や規模の違うアンサンブルを学ぶことで各楽器の特性を理解し、編成ごとに異なる演奏や表現方法を身につけます。プロオーケストラさながらの意欲的なプログラムで年間7～8回のコンサートを行い、一流の指揮者やソリストと共演。全専攻生がオーケストラの一員としての演奏を経験します。

打楽器の種類や形態は多種多様で、音楽表現も多彩です。打楽器奏者は、高い専門性と同時に広範な知識や経験を求められます。このため本学では、パーカッションとマリンバのどちらかを主専攻として選択しながら、もう一方も学ぶことのできるダブルレッスン制度を設けています。実技レッスンでは一人ひとりと綿密なコミュニケーション

を取り合い、きめ細かい指導で演奏に必要な技術とセンスを基礎から養います。また、オーケストラや室内楽などアンサンブルの機会も豊富で、合奏について基本から体系的に学習します。世界中から学びに訪れる留学生も多く、文化的・人間的な交流の輪が広がることも特徴のひとつであり、音楽界での多岐にわたる活躍が期待されます。

Focus

アンサンブルの経験が 奏者としての音を創り出す

パーカッションとマリンバ、2種類のアンサンブルのためのカリキュラムを設置。アンサンブルを通して耳を鍛え、学生・生徒たちの技術力と音楽性の向上を図ります。また、作曲など他専攻生と積極的に交流し、新作初演などの経験を通じて打楽器奏者としての可能性を広げていきます。

ハープ専攻

Harp Course

古楽器専攻

Period-Instrument Course

〈バロック・ヴァイオリン／バロック・チェロ／バロック・オーボエ／フラウト・トラヴェルソ／リコーダー／ヴィオラ・ダ・ガンバ／チェンバロ〉



ハープの歴史は古く、その音色は何世紀も前から人々を魅了してきました。本学では、日本におけるハープ奏者の活動の場を広げ、その可能性を切り拓いてきた第一人者の指導により、正しい演奏様式とテクニックを学ぶことができます。また、オーケストラや室内楽におけるハープの重要な役割に注目し、ソリストだけでなく、アンサン

ブル奏者の育成にも力を入れています。公開レッスン形式で行われるアンサンブルやオーケストラ・スタディの授業では、ハープのための重要なレパートリーを取り上げ、優れたアンサンブル奏者として活躍するために必要な技術と知識を基礎から教えます。ハープ奏者に必要な要素を体系的に指導し、次代を担う演奏家として送り出します。

Focus

他楽器との共演が 演奏力・表現力を高める

毎年12月に開催する「ハープアンサンブルの夕べ」は、複数のハープを使ったハープ同士のアンサンブルと、他楽器とのアンサンブル作品で構成するコンサート。専攻生全員が出演します。専攻生が互いに成長を確認する機会であると同時に、他専攻生と共演し交流を深める貴重な機会でもあります。

20世紀中頃以降、音楽作品を演奏する際にそれが作曲された時代の楽器を使用する解釈が試みられてきました。こうした解釈で使われる楽器は一般的に古楽器（ペリオド楽器）と呼ばれますが、本専攻はこの古楽器を専門的に学びます。レッスンやアンサンブルの授業によって演奏技術を高めるだけでなく、主として17世紀、18世紀の

楽器や演奏法、記譜法などの歴史について研究を深めながら、当時の音楽を現代に甦らせるための方法を修得していきます。近年、古楽器による演奏は19世紀以降のレパートリーも視野に入れるようになり、モダン楽器の演奏家が古楽器演奏の方法を取り入れることもあります。古楽器専攻の重要性はさらに高まっていくでしょう。

Focus

様々なタイプのチェンバロに触れ、 探究に合わせて学習する

チェンバロ、クラヴィコード、フォルテピアノなどの鍵盤楽器や、バロック・ヴァイオリンやヴィオラ・ダ・ガンバ、フラウト・トラヴェルソやバロック・オーボエなどの多様な楽器の演奏を通して、楽器の構造、歴史、ピッチ、音律などその時代ならではの音楽習慣を学習し、多角的な考え方を身につけます。

声楽専攻

Vocal Music Course



自らの身体そのものが楽器となる声楽。正確な発声法と呼吸法、充実したソルフェージュや語学教育が、声楽家としての基礎を形づくります。高大一貫の専門教育で音楽家に必要な知識と教養を身につけ、高い能力と個性を併せ持つ優れた演奏家へと成長する力を蓄えます。オペラクラスでは、歌唱や演技はもちろん、舞台をつくり上げ

る工程全般を学びます。現役のオペラ歌手が助演で参加することもあり、プロの役づくりや本番までの準備の方法などを間近に見ることができます。高度なアンサンブルや合唱の授業、海外からの招聘講師による公開レッスンなども充実。器楽専攻生との交流は、音楽を愛する心を育むだけでなく、一生の宝となるでしょう。

Focus

5カ国語によるディクションで正しい発音を学ぶ

言葉の発音法を学ぶディクションの授業が充実。イタリア語、ドイツ語、フランス語、日本語、ロシア語によるカリキュラムを用意。歌曲などを教材に、言語に合わせた正しい発音や発声法など、歌うための基礎的な技術を身につけます。様々な言語に触れることで、自分に合う分野や方向性を模索していきます。

指揮専攻

Conducting Course



指揮者は、演奏の現場で起こる様々な問題を円滑に解決する高い能力が求められます。指揮者は音を出しません。しかし、音楽への理解を深め、現場の奏者たちと良好な関係を築くためには、ソルフェージュや音楽理論などの基礎を徹底して身につけ、ピアノや副科実技のレッスンなどで楽器演奏にも習熟することが不可欠です。優れた

演奏家でもある器楽専攻生たちとの交流は、指揮者には欠かせないコミュニケーション能力や積極性を養います。本学創始者の一人、齋藤秀雄先生から始まる桐朋の指揮の伝統を受け継ぎ、発展させてきた指導陣による教育と、オーケストラの生の音に日常的に触れることのできる環境は、指揮を学ぶ上で大きな魅力となります。

Focus

演奏会のリハーサルを見学し、生きた音楽を学ぶ

オーケストラなどのリハーサルを見学することは、著名な指揮者や演奏家たちのリハーサルでのコミュニケーションや練習プロセスを間近で見て学習する良い機会となります。特に、オペラを一からつくり上げる現場の空気を体感することは、将来、指揮者として活躍するための貴重な経験となるでしょう。

作曲専攻

Composition Course

〈創作芸術／編作芸術〉

音楽学専攻

Musicology Course



作曲専攻では、しっかりした基礎の修得と、創作活動の実践につながる教育を目指しています。高校・大学ともに、一流の指導陣による実技レッスンと、音楽理論や作曲法のクラスを用意。基礎から応用まで段階的に指導します。毎年開催する作曲作品展、国内外の著名な音楽家を招いての公開講座や集中講義など、発表、研究の機会

も数多く提供。また、演奏家とのコラボレーションにより、楽器と奏法についてのバラエティに富んだ探究の場を豊富に設けています。大学では、創作芸術と編作芸術とに専攻が分かれ、創作芸術では和声・対位法・管弦楽法・コンピュータ音楽実習など、編作芸術では合唱曲・吹奏楽曲・管弦楽法などのカテゴリーを設定しています。

Focus

試演会を通じて多くの個性と交流し、友情を育む

本学には、現代音楽に関心があり、現代作品の演奏に積極的な器楽専攻生が数多くいます。作曲専攻生と器楽専攻生との距離が近く、学生同士で試演会を企画するなど、高次の区分なく自作品を音にする機会に恵まれています。様々な専攻の友人たちは、卒業後も助け合える大切な仲間となります。

「音楽学」とは音楽に関する学問の総称。本専攻では、学生の音楽的素養を生かしながら、西洋音楽史、民族音楽学、音楽理論、音楽美学、ポピュラー音楽学など、様々な角度から音楽について考えます。実技も頑張りながら学問に触れることができるのが、桐朋の特徴。指導にあたる専任教員は、著書や論文の執筆、国内外での発表を毎

年行っており、音楽史を掘り下げる「専攻演習」、外国語の文献を読み解く「楽書講読」など、多彩なプログラムを用意しています。教員と学生との自由で活発な議論によって、新しい世界が開かれることでしょう。国内有数の資料数を誇る図書館との連携によって「聴く勉強」が充実していることも、大きな特色です。

Focus

自由で開かれた学習環境のもと、自身の音楽学を探索

音楽学専攻の必修科目は少人数のゼミ形式。一人ひとりにきめ細かく対応し、卒業論文では担当教員が毎週1時間の指導を行います。少人数のため演習形式の授業が多く、研究発表の機会も豊富。教員と学生の距離が近く、対等に議論を交わすことのできるレベルな雰囲気も特徴のひとつです。

カリキュラム

本学は、1コマ90分という時間割設定と、授業開講期間、試験期間、文化祭などの年間予定を高大で共有することで、高校から大学までの一貫性を重視したカリキュラム編成を実現しています。学生・生徒の能動的な学びを引き出す豊富な選択科目、学習効果を高めるレベル別少人数授業なども大きな特色です。ここでは、そうした特色を生かした科目を抜粋しています。カリキュラム全般については本学ホームページに掲載しています。



専門科目

ソルフェージュ

必修科目。高大ともにグレード別少人数編成によるクラス授業を行っています。個人のグレードは所定の試験を経て一定期間ごとに更新され、常にレベルに合った指導を受けることができます。大学中級以上は多彩な講座のなかから自由に選択することができます。

和声

高校からの入学者は大学1年次までの4年間必修、大学からの入学者は3年次までの3年間必修です。大学からの入学者は和声既習者と未習者とでクラスを分けるため、無理なく確実に学習できます。和声の修得が、音楽理論や演奏法などへと発展します。

音楽理論・音楽史

音楽理論は、高校では音楽理論基礎、大学では音楽理論概論で楽典などを学んだ後、楽曲分析などへと展開します。音楽史は、高校では2・3年次に、大学からの入学者は1年次に概説を学んだ後、より専門的な視点で「音楽を考える力」を育みます。

語学科目

英語は高校3年間必修です。高校2年次からは独・仏いずれかを履修することができ、3年次で取得した独・仏の単位は桐朋学園大学の単位として認定されます（高大連携科目）。大学では英・独・仏・伊の各国語から1カ国語以上を選択します。

室内楽・二重奏ソナタ（2台ピアノを含む）

自由選択科目。室内楽や二重奏ソナタのレッスンを通年で受けることができます。年次による編成の制限がある以外にメンバー構成の制約はなく、高校生と大学生でグループを編成することも可能です。指導教員を2名まで希望することができます。

専攻別アンサンブル

弦・管・打・ハープ・古楽器・声楽専攻生を対象とする授業。対象年次は専攻ごとに異なります。楽器専攻生は専攻楽器同士での合奏、または異なる楽器との合奏を通じて、声楽専攻生は合唱を通じて、アンサンブルの技術と表現を基礎から学びます。

オーケストラ

高校3年次の弦楽器専門生と大学の弦・管・打・ハープ専攻生を対象とする通年授業。高校生と大学生とでひとつのオーケストラを編成し、指揮者のもとでのオーケストラ演奏を学びます。その後、演奏会ごとに設置されるオーケストラでさらに経験を積みます。

一般教養科目

特色ある講座のなかから、学生・生徒が自身の興味や必要に応じて選択し、履修することができます。人文科学、社会科学、自然科学、身体活動の各分野において、音楽家をめぐる今日的な課題について多角的に考えるための講座を設置しています。

高校からの入学者	大学からの入学者	共通
----------	----------	----

	桐朋女子高等学校 音楽科（男女共学）			桐朋学園大学 音楽学部			
	1年次	2年次	3年次	1年次	2年次	3年次	4年次
専門科目	ソルフェージュ						
	和声Ⅰ	和声Ⅱ	和声Ⅲ	応用和声Ⅱ			
				和声法Ⅰ	和声法Ⅱ	応用和声Ⅰ	
	音楽理論基礎	音楽理論応用		音楽理論（分析）			
				音楽理論概論		※和声法Ⅱの単位取得者	
		音楽史					
				音楽史概説			
	専攻実技						
	副科実技						
				副専攻			
	室内楽	室内楽・2台ピアノ		室内楽・二重奏ソナタ（2台ピアノ含む）			
語学科目	国語			日本語表現			
	英語						
		ドイツ語／フランス語（初級）		ドイツ語／フランス語（中級）			
				ドイツ語／フランス語（初級）			
				イタリア語			

Teacher-training course

▶ 教職課程

卒業単位の他、教職課程に定められた単位を修得することによって、右記の教員免許状を取得できます。教員免許状を取得するためには、教職に関する科目の他、学外での介護等体験や教育実習などの実習を含む単位が必要となります。本学学生は積極的に教職課程を履修しており、約7割の学生が卒業時に教員免許状を取得しています。

中学校教諭一種免許状（教科：音楽）

高等学校教諭一種免許状（教科：音楽）

※大学のみ

指導陣

2024 年度

学長	辰巳 明子	学生部長	杵鞭 広美
理事	長瀬 浩平	図書館長	沼野 雄司
学部長	中井 恒仁	高校部長	合田 香
研究科長	中井 恒仁	音楽教室部長	久保田 巧
教務部長	姫野 雅子		



実技等指導陣

※ 教員名の右上の印は以下の職名などを表します。
＊ 大学専任教員 ★ 高校教諭 ◇ 特命教授 ● 特任教授 ○ 特任講師
※ 副科として掲載している教員は、当該専攻の副科実技のみを担当します。

ピアノ

中井 恒仁 ＊（主任）	沼沢 淑音 ＊	玉置 善己 ●	大伏 啓太	高橋 多佳子	廻 由美子	【副科ピアノ】
新井 博江 ＊	上野 久子 ◇	練木 繁夫 ●	金子 恵	竹内 啓子	山崎 牧子	小田 裕之
清水 和音 ＊	海老 彰子 ◇	村上 弦一郎 ●	川島 伸達	鶴園 紫磯子	吉武 優	佐藤 勝重
仲道 郁代 ＊	岡本 美智子 ◇	若林 顕 ●	河村 晋吾	外山 啓介	吉村 真代	中川 賢一
朴 久玲 ＊	山田 富士子 ◇	青柳 晋	木村 徹	奈良場 恒美		中川 朋子
阿部 美果子 ＊	Pascal Devoyon ●	石井 楓子	齋木 隆	西村 翔太郎		松谷 園子
有吉 亮治 ＊	伊藤 恵 ●	入江 一雄	佐藤 彦大	広瀬 康		宮木 麻衣
今井 彩子 ＊	須田 眞美子 ●	江澤 聖子	島田 彩乃	三原 末紗子		
関本 昌平 ＊	田部 京子 ●	大西 真由子	高田 匡隆	三輪 郁		

弦楽器

▼ヴァイオリン・ヴィオラ	篠崎 功子 ◇	藤原 浜雄 ●	豊嶋 泰嗣	宮田 大 ●	▼コントラバス	【副科ヴァイオリン】
久保田 巧 ＊（主任）	庄司 紗矢香 ◇	伊藤 亮太郎	水谷 晃	山崎 伸子 ●	市川 雅典 ＊	梅津 美葉
景山 誠治 ＊	徳永 二男 ◇	木野 雅之	村上 淳一郎	刈田 雅治	石川 滋	
加藤 知子 ＊	原田 幸一郎 ◇	久保 良治	山口 裕之	菊地 知也	稻川 永示	
辰巳 明子 ＊	堀 正文 ◇	佐々木 亮	▼チェロ	木越 洋	星 秀樹	
豊田 弓乃 ＊	池田 菊衛 ●	篠崎 友美	長谷川 陽子 ＊	北本 秀樹	本間 達朗	
神谷 美千子 ＊	漆原 啓子 ●	篠崎 史紀	倉田 澄子 ◇	清水 詩織		
田中 晶子 ＊	惠藤 久美子 ●	清水 醍輝	堤 剛 ◇	高木 慶太		
石井 志都子 ◇	清水 高師 ●	鈴木 康浩	毛利 伯郎 ◇	銅銀 久弥		
磯村 和英 ◇	竹澤 恭子 ●	戸田 弥生	上村 昇 ●	古川 展生		

管楽器

▼フルート	▼オーボエ	勝山 大鋪	井上 俊次	▼ホルン	山本 英司	▼テューバ
神田 寛明 ＊	嶋崎 耕三 ＊	野田 祐介	佐藤 由起	上原 宏 ＊（主任）	▼トロンボーン	久保 和憲
白尾 彰 ●	広田 智之 ●	芳賀 史徳	武井 俊樹	猶井 正幸 ●	神谷 敏 ●	渡辺 功
倉田 優 ○	岡 北斗	林 裕子	福井 弘康	今井 仁志	今村 岳志	
飯島 諒	小野寺 彩子	藤井 洋子	▼サクソフォン	吉永 雅人	栗田 晃	
泉 真由	高橋 舞	三界 秀実	武藤 賢一郎 ●	▼トランペット	古賀 光	
梶川 真歩	最上 峰行	吉野 亜希菜	大津 立史	▼ユーフォニウム	▼ユーフォニウム	
小池 郁江	▼クラリネット	▼ファゴット	小山 弦太郎	長谷川 潤 ＊	佐藤 采香 ○	
高野 成之	亀井 良信 ＊	岡本 正之 ●	茂木 建人	田中 敏雄		

打楽器

▼パーカッション	▼マリンバ	▼パーカッション・マリンバ
小島 光 ●	安倍 圭子 ◇	安江 佐和子 ○
近藤 高顕 ○	中村 友子	
渡邊 壮	藤井 里佳	

ハープ

篠崎 史子 ◇	井上 美江子	篠崎 和子
---------	--------	-------

古楽器

▼バロック・ヴァイオリン	▼バロック・チェロ	▼バロック・オーボエ	▼リコーダー	▼チェンバロ	【副科チェンバロ】
寺神戸 亮 ●	Emmanuel Girard ●	桐山 温子	古橋 潤一	有田 千代子 ●	植山 けい
丸山 韶	酒井 淳 ●	▼フラウト・トラヴェルソ	▼ヴィオラ・ダ・ガンバ	渡邊 順生	【副科オルガン】
		有田 正広 ●	Emmanuel Girard ●		水野 均

声楽

大橋 ゆり ＊（主任）	藤川 泰彰 ★	園田 真木子	長尾 康世	嘉目 真木子	【副科声楽】
腰越 満美 ＊	落合 美和子	谷 茂樹	松井 康司	与那城 敬	北村 典子
宮本 益光 ＊	駒井 ゆり子	丹藤 麻砂美	村上 明子		
鈴木 准 ＊	里中 トヨコ	塚田 裕之	森 麻季		
大島 幾雄 ◇	篠原 百合乃	友清 崇	安井 陽子		

指揮

沼尻 竜典 ＊	増井 信貴 ●	篠崎 靖男	吉田 行地
尾高 忠明 ◇	新田 ユリ ○	村上 寿昭	

作曲

鈴木 輝昭 ＊（主任）	西岡 龍彦 ●	鈴木 純明	菜 孝之 ●	渡辺 裕紀子	林 達也	【副科作曲】
石島 正博 ＊	池田 哲美 ○	田口 真理子	愛澤 伯友 ○	▼作曲理論ピアノ	三輪 郁	遠藤 真理子
土田 英介 ＊	久木山 直 ○	原田 敬子	伊藤 康英	石島 正博 ＊	吉田 真穂	金田 望
鷹羽 弘晃 ＊	井上 渚	松波 匠太郎	井上 渚	土田 英介 ＊		山口 恭子
飯山 智宏 ＊	大家 百子	▼作曲法演習	金子 仁美	飯野 明日香		山下 美香
正門 憲也 ★	加藤 真一郎	鈴木 輝昭 ＊	佐藤 岳晶	石岡 久乃		渡部 真理子
三瀬 和朗 ◇	金子 仁美	土田 英介 ＊	久行 敏彦	加藤 真一郎		
香月 修 ●	清水 篤	藤井 一興 ●	村上 寿昭	竹内 啓子		

音楽学

沼野 雄司 ＊（主任）	安田 和信 ＊	佐藤 康太 ＊
-------------	---------	---------

大学 | 専門科目

ソルフェージュ

森山 智宏 * (主任)	安西 房代	加藤 真一郎	田口 真理子	中村 理奈子	松井 裕紀子
鷹羽 弘晃 *	市川 景之	沢木 良子	田中 やよい	長谷川 由美子	柳川 瑞季
伊倉 由紀子 ★	井澤 岳野	塩崎 美幸	塚田 真理	船橋 泉乃	山口 恭子
鈴木 しのぶ ★	上田 真樹	清水 篤	築田 佳奈	深見 麻悠子	山中 千尋
間谷 琴未 ★	小田 裕之	十川 菜穂	寺嶋 陸也	堀井 佐知子	渡部 真理子

音楽学・音楽史

沼野 雄司 * (主任)	上尾 信也 ○	大津 聡	今野 哲也	永井 玉藻	伏木 香織	前原 恵美
安田 和信 *	池原 舞	川本 聡胤	佐々木 美奈子	沼口 隆	藤田 茂	増野 亜子
佐藤 康太 *	今井 千絵	後藤 菜穂子	神保 夏子	平間 充子	藤村 晶子	米田 かおり

和声法・音楽理論・芸術音楽

鈴木 輝昭 * (主任)	正門 憲也 ★	池田 哲美 ○	井上 莉里	金子 仁美	林 達也
石島 正博 *	梅津 時比古 ◇	久木山 直 ○	遠藤 真理子	工藤 真希子	引地 誠
土田 英介 *	藤井 一興 ○	Yohanan Chendler	片山 柊	今野 哲也	松波 匠太郎
鷹羽 弘晃 *	菜 孝之 ○	伊藤 康英	魚返 明未	下山 静香	山中 千尋
森山 智宏 *	愛澤 伯友 ○	井上 渚	加藤 真一郎	濱島 祐貴	渡部 真理子

その他専門科目

▼ピアノ伴奏法	河村 晋吾	渡部 智也	塚田 裕之	▼音楽療法の理論と技法	景山 裕子
藤井 一興 ○	▼ピアノ・リテラチュア	▼オペラクラス	友清 崇	小宮 暖	菊地 知也
古高 晋一	楠原 祥子 ○	大橋 ゆり *	福永 一博	▼音の生理学	藤村 俊介
▼伴奏クラス	▼ピアノ実技指導法	腰越 満美 *	▼オベレッタ・ミュージカル演習	▼音の物理学	▼室内楽講座
小田 裕之	今井 彩子	鈴木 准 *	▼声楽アンサンブル・合唱	越智 景子	藤井 一興 ○
松谷 園子	▼声楽ディクシオン	▼声楽アンサンブル・合唱	▼指揮法	▼弦合奏	▼キャリアデザイン
▼ピアノ演奏法	大橋 ゆり *	宮本 益光 *	高山 美佳	市川 雅典 *	大島 路子
朴 久玲 *	宮本 益光 *	宮本 益光 *		田中 晶子 *	
有吉 亮治 *	藤川 泰彰 ★	大津 康平		稲川 永示	
沼沢 淑音 *	駒井 ゆり子	加藤 洋朗			

大学 | 語学科目・一般教養科目・教職課程科目

語学科目

▼英語	奥野 元子	矢向 寛子	十川 菜穂	Stefan Säbel ○	杉山 真佑美	Rufo Costanza
長瀬 浩平 *	興石 采佳	安野 直	萩原 さがみ	Markus Freyberg	松村 亜矢	
三浦 大輔 ★	鈴木 希	▼フランス語	山上 昌子	猪狩 弘美	武藤 陽子	
Jeremy Fulton ○	田中 直人	加藤 三和	山邑 久仁子	大野 雄三	吉村 暁子	
飯島 麻里	田中 由香	小森谷 朋子	▼ドイツ語	織田 晶子	▼イタリア語	
大島 路子	間瀬 裕子	佐藤 ローラ	玉川 裕子 *	川名 真矢	Vincenzo Spinuso ○	

一般教養科目

姫野 雅子 * (主任)	西野入 篤男 ★	入井 凡乃	木下 頌子	須関 裕子	野上 圭太
杵糠 広美 *	室田 大樹 ★	内田 裕太	小松 志朗	千田 実	秦 江里奈
玉川 裕子 *	浅野 充	江川 純一	小宮 暖	富澤 萌未	水野 泰尚
長瀬 浩平 *	阿部 史佳	遠藤 記代子	里岡 純子	長井 淳	
荒巻 由紀 ★	伊澤 英紀	加藤 三和	清水 郁子	中山 夏織	

教職課程科目

杵糠 広美 * (主任)	河原 勇人 ○	石坂 浩毅	小高 臣彦	宮城 哲
宮本 益光 *	風見 章 ○	狩野 浩二	竹下 善博	山本 剛

高校 | 専門科目

ソルフェージュ

伊倉 由紀子 ★	森山 智宏 *	十川 菜穂	築田 佳奈	堀井 佐知子	渡部 真理子
鈴木 しのぶ ★	加藤 千春	田中 やよい	船橋 泉乃	松井 裕紀子	
間谷 琴未 ★	塩崎 美幸	塚田 真理	深見 麻悠子	山口 恭子	

ピアノ初見

鈴木 しのぶ ★	加藤 千春	百武 真弓
----------	-------	-------

音楽史

安田 和信 *	米田 かおり
近松 博郎	
藤村 晶子	

音楽理論

正門 憲也 ★	鷹羽 弘晃 *	井上 渚	桐山 温子	下田 幸二
石島 正博 *	森山 智宏 *	遠藤 真理子	小島 有利子	藤村 晶子
土田 英介 *	石濱 加夏子	加藤 真一郎	篠田 昌伸	渡部 真理子

弦楽アンサンブル・弦楽オーケストラ

市川 雅典 *	長谷川 陽子 *	景山 裕子
田中 晶子 *	稲川 永示	清水 醍輝

独唱・合唱

藤川 泰彰 ★	丹藤 麻砂美
里中 トヨコ	塚田 裕之

室内楽（ピアノ）

佐藤 勝重
吉武 優

高校 | 普通科目

外国語

▼英語	飯島 麻里	末松 紀子	間瀬 裕子	▼ドイツ語	松村 亜矢	▼フランス語
三浦 大輔 ★	石井 裕香	鈴木 希	宮崎 由美子	玉川 裕子 *		小森谷 朋子
Damian Macintosh ○	興石 采佳	高岡 朱美		川名 真矢		山邑 久仁子

他科目

▼国語	▼地理歴史・公民	▼数学・理科・情報	土田 智美	▼家庭科	▼保健体育	田中 優子
西野入 篤男 ★	室田 大樹 ★	姫野 雅子 *	増田 翔也	川島 しずる	荒巻 由紀 ★	福田 大和子
内田 裕太	笹村 剛	石井 真紀子		矢野 祐子	伊澤 英紀	森 江里香
千田 実		上野 国子			須関 裕子	

大学院 | 専門科目・関連科目・総合科目

(修士課程・博士後期課程)

ピアノ

▼コレベティツィオン
田島 亘祥
▼歌曲伴奏
星野 明子
▼器楽特殊研究
武田 美和子

声楽

▼声楽特殊研究・歌曲・台本研究
大橋 ゆり
腰越 満美
鈴木 准
宮本 益光
太田 朋子
田島 亘祥
村上 寿昭

作曲理論

▼作品分析・創作演習	藤井 一興
鈴木 輝昭	菜 孝之
石島 正博	渡辺 裕紀子
土田 英介	
池田 哲美	
加藤 真一郎	
金子 仁美	
近藤 譲	
佐藤 岳晶	

音楽学

▼文献・原書購読
沼野 雄司
安田 和信
佐藤 康太
上尾 信也
大津 聡
長木 誠司
永井 玉藻
西原 稔

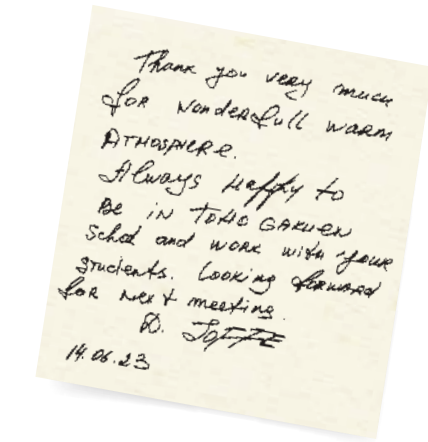
ソルフェージュ

▼ソルフェージュ特殊研究
寺嶋 陸也

特別レッスン

本学の教育活動は海外にも広く知られ、本学の学生や教育システムに関心を持つ多くの演奏家や指導者が世界中から来校し、特別レッスンや公開講座を行っています。国際色豊かなレッスンは学生の視野を広げ、世界の舞台で活躍する音楽家を育成します。

詳細はWebへ



| ピアノ特別レッスン

ディーナ・ヨッフエ

ピアニスト／中央音楽学院 客員教授／リセウ音楽院 特別教授

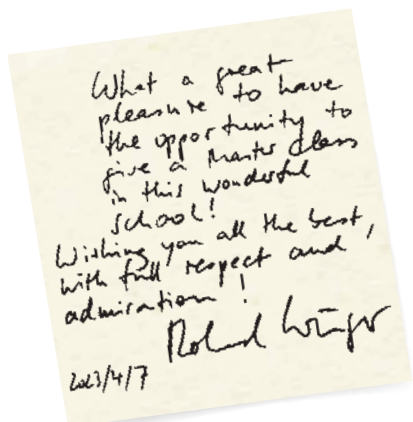
素敵な温かい雰囲気をおりがとうございました。桐朋学園大学に来られて、生徒の皆さんと一緒に仕事ができることをいつも嬉しく思っています。またお会いできる日を楽しみにしています。 ディーナ・ヨッフエ

| ピアノ特別レッスン

ローランド・クリューガー

ピアニスト／ハノーファー音楽大学 教授

この素晴らしい学校でマスタークラスを行う機会を持てたことを大変嬉しく思います！ 尊敬と称賛の念をこめて、皆さんのご活躍をお祈りします！ ローランド・クリューガー

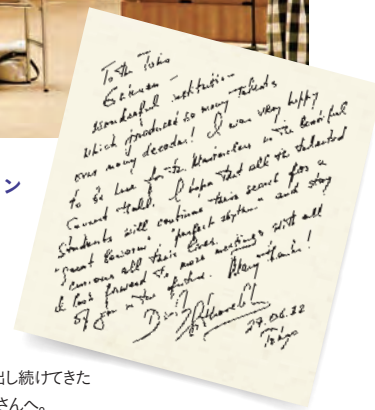


| ヴァイオリン特別レッスン

ドミトリー・シトコヴェツキー

ヴァイオリニスト／指揮者／グリーンスボロ交響楽団 音楽監督

多くの才能を何十年にもわたって輩出して続けてきた素晴らしい学校である桐朋学園の皆さんへ。この美しいコンサートホールでマスタークラスができたことを本当に嬉しく思います。才能豊かな皆さんが、素晴らしい弓さばき、完璧なリズムへの探究を続け、人生にわたって好奇心を持ち続けてくれることを願っています。将来また皆さんに会えることを楽しみにしています。ありがとうございます！ ドミトリー・シトコヴェツキー



| ピアノ特別レッスン

ヘンリ・シーグフリードソン

ピアニスト／ Folkwang 芸術大学 教授

桐朋学園の皆さんへ。初めてこの素晴らしい学校で教える機会に恵まれました。学生の皆さん、そして先生方が非常に高いレベルの芸術性、そしてピアノニズムを築き上げていらっしゃることを心から称賛したいと思います。喜びと素晴らしい雰囲気の溢れる2日間を過ごすことができとても光栄です。音楽をこめて。ヘンリ・シーグフリードソン



| ピアノ特別レッスン

ミシェル・ダルベルト

ピアニスト

何年もの時を経て、再び（桐朋に）戻ってくることができたことは大きな喜びです。驚くほどハイレベルな学生にとっても感心しています。私は喜びとともにまたここに戻ってくるでしょう。ミシェル・ダルベルト



特別レッスン・公開講座担当者一覧 (2023年実績・一部抜粋)

有田 正広（フラウト・トラヴェルソ 本学特任教授）／池田 菊衛（ヴァイオリン 本学特任教授）／石川 遼（コントラバス 本学非常勤講師、読売日本交響楽団ソロ首席奏者）／出雲 蓉（舞踏家）／セバスティアン・ヴィシャール（ピアノ リヨン国立高等音楽院教授 アンサンブル・アンテルコンタンポラン）／恵藤 久美子（ヴァイオリン 本学特任教授）／海老 彰子（ピアノ 本学特命教授）／大宮 臨太郎（ヴァイオリン NHK交響楽団首席奏者）／尾高 忠明（指揮 本学特命教授）／クリスティアーネ・カイザー（声楽家 宮廷歌手）／ローランド・クリューガー（ピアノ ハノーファー音楽大学教授）／ミロスラフ・ケイマル（トランペット 元テコフィル首席奏者）／ルーカ・コッラ（コレベティピアノ ミラノ市立クラウディオ・アッバド音楽院教授）／近藤 譲（作曲 日本現代音楽協会理事長）／坂本 麻実（舞踏家）／佐藤 拓（アレクサンダー・テクニーク指導者）／ヘンリ・シーグフリードソン（ピアノ Folkwang 芸術大学教授）／トビアス・シャルフェンベルガー（声楽家 モーゼル音楽祭監督）／チャールズ・スペンサー（ピアノ 元ウィーン国立音楽大学教授）／瀬山 詠子（声楽家）／インゴ・ダンホルン（ピアノ トロツィンゲン音楽大学教授、副学長）／寺神戸 亮（バロックヴァイオリン 本学特任教授）／バスカル・ドヴァイヨン（ピアノ 本学特任教授）／インゴルフ・トゥルバン（ヴァイオリン ミュンヘン音楽・演劇大学教授）／西岡 龍彦（作曲 本学非常勤講師）／野平 一郎（作曲 本学特任教授）／平野 美樹（舞踏家）／福士 則夫（作曲 元本学特任教授）／福士 マリ子（ファゴット 東京交響楽団首席奏者）／藤原 浜雄（ヴァイオリン 本学特任教授）／ヴィレム・ブロンズ（ピアノ アムステルダム音楽院教授）／松田 拓之（ヴァイオリン NHK交響楽団次席奏者）／三宅 毅彦（一般社団法人レッシュ・プロジェクト副代表、事務局長）／森田 昌弘（ヴァイオリン NHK交響楽団首席奏者）／山村 泰千代（日本舞踊家 山村流師範）／ディーナ・ヨッフエ（ピアノ リセウ音楽院特別教授、中央音楽学院客員教授）／ブルーノ・リグット（ピアノ バリ・エコールノルマル音楽院教授）／ヤコブ・ロイシュナー（ピアノ デトモルト音楽大学ピアノ科主任）／ハネス・ロイビン（トランペット ミュンヘン音楽大学教授）／鷲田 実土里（舞踏家）／渡邊 孝（チェンバロ ベルン音楽院教授）

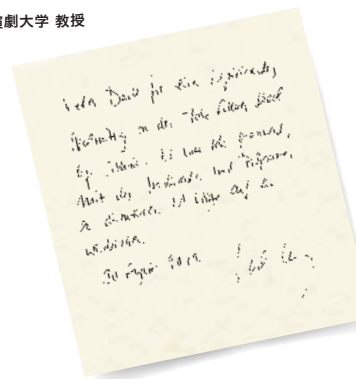
※所属・役職はレッスン当時のものです。

| 作曲公開講座

イザベル・ムンドリー

作曲家／ミュンヘン音楽・演劇大学 教授

桐朋学園でインスピレーションに富んだ午後を過ごすことができたことに感謝します。学生や先生方との議論は、とても興味深かったです。またお会いできることを楽しみにしています。イザベル・ムンドリー



Campus life

【桐朋生のキャンパスライフ】

桐朋学園の学生たちは同じ音楽を志す者として、互いに切磋琢磨できる環境のなかで、日々練習に励んでいます。自身に合ったスタイルで過ごす学校生活。ここでは、学生のキャンパスライフの一部をご紹介します。

桐朋生の1日 35 コンサートスケジュール... 40
活躍する桐朋生 38 キャンパスガイド 42

Our days

桐朋生の1日

個々人に合ったスタイルで、授業や自主練習を通じて音楽の才能を伸ばしています。
桐朋生の朝練習、夜練習、学生会館、3つのキャンパスライフをご紹介します。

Case 1
朝練



多様な学びを
経験できる環境で
研鑽を続ける

片岡 琴佑さん

桐朋女子高等学校 音楽科（男女共学）2年
ピアノ専門

5歳よりピアノを習い始める
2016年 子供のための音楽教室に入室
2016年 加藤 明子先生に師事
2022年 桐朋女子高等学校に特待生として入学
有吉 亮治先生に師事

桐朋学園には授業やレッスンだけではなく様々な学びの場があります。尊敬する先輩との2台ピアノ、同級生と発表したピアノ・クインテットなど和気藹々としながらも日々研鑽を積んでいます。同級生や先輩との室内楽を通じて、自分の音、相手の音をよく聴くようになり、よい音楽を創り上げるために意見も言い合えるようになりました。

Ⅱ 時間割

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1	音楽史	ソルフェージュ	英語 論理・表現	フランス語	体育
2	英語 コミュニケーション	フランス語	音楽理論応用	数学Ⅰ	ソルフェージュ
3	国語応用Ⅰ	和声	科学と人間生活	生物基礎	公共
4			ホームルーム		
5					男声合唱

On a Tuesday



楽しみながら、感性を磨く

聴音を通じて和声やリズムの捉え方を学び、表現力を養います。歌ったリズムを取ったりする時間も楽しく好きな授業です。



友達とおしゃべりしてリラックス

同じ志を持ち切磋琢磨し合う学校の友達とはとても大切な存在です。空き時間は音楽や日常のことまで、様々な話題を語り合います。



ソロでは味わえない音色を奏でる

ソロの演奏も楽しいですが、同級生という、身近で尊敬できる音楽仲間と一緒に演奏できる室内楽の演奏も心地よくて好きですね。

Our days

桐朋生の1日

Case 2

夜練



II 時間割

	MON	TUE	WED	THU	FRI	通隔
1	音楽理論 (応用和声Ⅱ) 2	音楽理論 (分析) 24	室内楽史			日本国憲法 A/B
2	ドイツ語 6	ソルフェージュ SP	体育 ナンバリズムミックB		オペラ・ オラトリオ史 I	
3	英語Ⅲ 17-OCB	ドイツ語 9				
4	日本語表現 3		英語Ⅲ 20-LW			
5				オーケストラ 中級クラス		

共に学ぶ仲間の
頑張る姿が、
私の原動力に

多々良 真名さん

桐朋学園大学 音楽学部 1 年
弦楽器専攻 (ヴァイオリン)

5歳よりヴァイオリンを習い始める
12歳より加藤 知子先生に師事
2023年 室内楽セミナー「秋吉台の響き」2023に参加
第5回日本奏楽コンクール 大学生の部第2位

桐朋学園は、指導してくださる先生も一緒に学ぶ仲間も尊敬できる方ばかり。皆さんの演奏に取り組む姿を見ていると、自然と「追いつきたい」という想いが生まれ、練習や勉強にもより身が入るように感じます。自宅が遠いので、個人の練習は放課後にそのまま学校で取り組むことが多いですね。練習室は集中力が高まるので、お気に入りの場所です。

On a Thursday

9:00	14:00	15:00	16:30	20:00	23:00
------	-------	-------	-------	-------	-------

自宅で練習

レッスン

図書館で自習

授業 (Bオケ)

学校で練習

帰宅



親身な指導で自分の成長を実感

週に一度、先生と1対1でレッスンがあります。個性や成長のペースに合った、細やかな的確な指導を受けることができます。



授業の合間を活用して予習・復習

授業の空き時間や練習室が空いていないときは、スコアを読んだり課題に取り組んだりして時間を有効活用しています。



オーケストラの演奏を授業で体験

プロとして活躍する講師の方に指導を受けられる貴重な時間。一人での演奏とは異なる弾き方なども体験でき、勉強になります。

Our days

桐朋生の1日

Case 3

学生会館



II 時間割

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1			ICT 活用による 教育の方法・技術		音楽家教育法 I	
2			英語Ⅲ 22-T	教育相談		
3	作曲法演習 合唱曲				音楽史各論	作曲法演習 吹奏楽
4	ソルフェージュ BC		女声合唱 B			
5						

側で暮らす学友が
作品を音に
変えてくれる

松橋 乃愛さん

桐朋学園大学 音楽学部 2 年
作曲専攻

7歳よりピアノを習い始める
2008年 土田 英介先生に師事
2016年 桐朋女子高等学校 音楽科 (男女共学) 入学
現在作曲を正門 憲也先生、
鷹羽弘晃先生に師事

指揮者を目指し、北海道から上京して入学しました。一人暮らしは不安もありましたが、管理人さんが毎日温かく接してくれるので安心して過ごせています。私と同じように上京してきた同級生や、自分が編曲した音楽を舞台で奏でくれる仲間たちなど、桐朋学園の学生は皆が音楽に対して一生懸命で、いつも刺激や意欲をもらっています。

On a Friday

9:00	11:00	13:00	15:00	20:00
------	-------	-------	-------	-------

授業 (音楽家教育法 I)

図書館で資料探し

授業

学校で練習

自室で作曲



音楽教育の背景を知り、視野を広く

音楽の教科書を通じて「何故この曲を取り上げるのか」といった理念を学びます。自分なりの視点から音楽を眺めることが面白いです。



図書館で楽譜や音源の資料探し

図書館は楽譜や音源の宝庫。欲しい資料がすぐに見つかるし、落ち着いて静かに勉強することができますので、お気に入りの場所です。



演奏を通じて作曲の理解を深める

作曲を学んでから「作曲家はこう弾いてほしかったのかな」と考えるようになるなど、演奏表現にも良い変化があったと感じます。

Our success

活躍する桐朋生

コンクール出場やオーケストラ参加など、様々なステージで活躍する桐朋生。
その経歴や活動内容、それぞれの想いについてご紹介します。



Pickup

世界の平和を祈り、音楽を続ける

第 29 回ヨハネス・ブラームス
国際コンクール チェロ部門 第 1 位

北村 陽さん

桐朋学園大学 音楽学部
ソリスト・ディプロマコース 1 年 チェロ専攻

コンクールだからといって特別な練習を取り入れることはありません。いつも通りひたすら楽譜を丁寧に読み込み、自分なりにイメージを膨らませて演奏します。海外で様々な国の学生らと交流するうちに、戦争は遠い国の話ではないと感じました。音楽によって穏やかな時を思い出し、安寧の世を求めるきっかけになったらと願っています。

Pickup

自らと向き合った時間が私を支える

第 92 回日本音楽コンクール
ピアノ部門 2 位

稲積 陽菜さん

桐朋学園大学 音楽学部 2 年
ピアノ専攻

日々の練習や生活を通じて何度も反芻してきた思考、自分の弱さや演奏と向き合ってきた時間が今の自分の核になっていると思います。そのように向き合ってきたことで形成された「核」が、本番中に緊張やプレッシャーで自分を見失いそうになったときの支えになっているように感じています。



Pickup

緊張より楽しさが勝った、大舞台

第 92 回 日本音楽コンクール
バイオリン部門 第 2 位

小西 真璃花さん

桐朋女子高等学校 音楽科（男女共学）1 年
弦楽器専門（ヴァイオリン）

ずっと憧れだった日本音楽コンクール。課題曲が発表されてからは自分なりに計画を立て、毎日4～6時間ほど練習したと思います。先生からの助言もあり、本番の環境に慣れるために、課題曲をすべて演奏する機会も設けました。コンクール当日は緊張よりも楽しい気持ちの方が勝り、いきいきと演奏できたように感じます。

コンクールでの活躍（2023 年度実績）

第 29 回ヨハネス・ブラームス国際コンクール

【チェロ部門】

第1位 2023年SD1年 チェロ 北村 陽さん

第 92 回日本音楽コンクール

【チェロ部門】

第1位／増沢賞 2023年SD1年 チェロ 北村 陽さん
入選 2023年SD 修了 チェロ 佐山 裕樹さん

【ピアノ部門】

第2位 大学2年 ピアノ 稲積 陽菜さん
第3位／三宅賞 高校2年 ピアノ 朴 沙彩さん
入選 大学4年 ピアノ 重松 良卓さん

【バイオリン部門】

第2位 高校1年 ヴァイオリン 小西 真璃花さん

第 77 回全日本学生音楽コンクール全国大会

【チェロ部門 高校の部】

第2位 高校2年 チェロ 東川 幹太さん

【チェロ部門 大学の部】

第1位 大学2年 チェロ 河田 実聖さん
第2位 SD1年 チェロ 瀬戸 真愛さん
横浜市民賞 CD2年 チェロ 澤野 令さん

【ピアノ部門 高校の部】

第2位 高校3年 ピアノ 川上 莉々愛さん

アントン・ルービンシュタイン国際コンクール
2023（オンライン）

【ピアノ部門】

第1位 高校3年 ピアノ 原田 怜さん

第 25 回ショパン国際ピアノコンクール in ASIA
全国大会

【大学生部門】

金賞 大学2年 ピアノ 梅田 優理子さん

日本演奏家協会主催
第 25 回日本演奏家コンクール

【ピアノ部門 高校生の部 本選】

第1位 高校3年 ピアノ 川上 莉々愛さん
第2位 高校2年 ピアノ 鈴木 愛さん

全日本ピアノ指導者協会主催
第 47 回ビティナ・ピアノコンペティション

【Pre特級ファイナル】

金賞 大学3年 ピアノ 南 ことこさん

※紙面の都合で一部のみを掲載しています。
（入賞時の学年を記載しています）

Our concerts コンサートスケジュール

本学主催・共催などの演奏会が数多く開催されます。その他公演および詳細は、ホームページの「演奏会情報」でご案内していますのでご覧ください。

4月 14 (日) **卒業演奏会 (高校)**
紀尾井ホール

21 (日) **卒業演奏会 (大学)**
紀尾井ホール

26 (金) **声楽コンサート**
桐朋学園宗次ホール

5月 8 (水) / 15 (水) **管楽アンサンブルのタベ**
桐朋学園宗次ホール

20 (月) **第110回 室内楽演奏会**
桐朋学園宗次ホール

28 (火) / 29 (水) **ヴィオラスペース**
指揮：山下 一史
紀尾井ホール

エンズレン ショーン 陸さん
桐朋学園大学 音楽学部 3年
管楽器専攻 (トロンボーン)

舞台上立つことで、
世界が拓けた

大切なのは、完璧に弾くことより
聴く人に感動を届けること。
舞台での経験を通じて世界がより
広がりました。



6月 5 (水) **第111回 室内楽演奏会**
桐朋学園宗次ホール

10 (月) **大学 Student Concert ①**
桐朋学園宗次ホール

12 (水) **高校 Student Concert ①**
桐朋学園宗次ホール

17 (月) **高校 Student Concert ②**
桐朋学園宗次ホール

21 (金) **第46回 作曲作品展**
三鷹市芸術文化センター 風のホール

24 (月) **第112回 室内楽演奏会**
桐朋学園宗次ホール

26 (水) **大学 Student Concert ②**
桐朋学園宗次ホール

7月 6 (土) **オーケストラ演奏会**
指揮：村上 寿昭
調布市グリーンホール 大ホール

8月 30 (金) **桐朋ピアノ・コンペティション (本選)**
桐朋学園宗次ホール



中山 結菜さん
桐朋学園大学 音楽学部 2年
ピアノ専攻

舞台上で演奏するあの喜びを求めて

舞台上で演奏したときの喜びは何にも代え難いですね。あの達成感があるからこそ、どんな練習も乗り越えられます。

9月 18 (水) **齋藤秀雄先生没後 50 年記念演奏会**
指揮：秋山 和慶・沼尻 竜典
サントリーホール

21 (土) **佐々木成子賞受賞記念コンサート**
桐朋学園宗次ホール

28 (土) / 29 (日) **調布市民オペラ**
指揮：村上 寿昭
調布市グリーンホール 大ホール

10月 23 (水) **第19回 桐朋ピアノ・ガラコンサート**
調布市文化会館たづくり くすのきホール

28 (月) **大学 Student Concert ③**
桐朋学園宗次ホール

30 (水) **大学 Student Concert ④**
桐朋学園宗次ホール

11月 23 (土) **音楽大学オーケストラ・フェスティバル**
指揮：沼尻 竜典
with 昭和音楽大学 & 東京藝術大学
ミュゼザ川崎 シンフォニーホール

12月 2 (月) **ハープアンサンブルのタベ**
桐朋学園宗次ホール

6 (金) **チェロアンサンブル**
三鷹市芸術文化センター 風のホール

10 (火) **第43回 パーカッションのタベ**
桐朋学園宗次ホール

17 (火) **第34回 Symphonic Winds 演奏会**
杉並公会堂 大ホール

1月 15 (水) **弦楽オーケストラ演奏会**
指揮：清水 麗輝
桐朋学園宗次ホール

18 (土) **オーケストラ演奏会**
指揮：新田 ユリ
調布市グリーンホール 大ホール

24 (金) **合唱のタベ**
調布市文化会館たづくり
くすのきホール

3月 3 (月) **第20回 桐朋ピアノ・ガラコンサート**
桐朋学園宗次ホール

8 (土) **大学ピアノ専攻卒業演奏会**
浜離宮朝日ホール

29 (土) **音楽大学オーケストラ
フェスティバル 合同オペラ**
指揮：沼尻 竜典
ミュゼザ川崎 シンフォニーホール



河田 実聖さん
桐朋学園大学 音楽学部 2年
弦楽器専攻 (チェロ)

チェロの音色で舞台を彩る

練習は厳しい瞬間もありましたが、本番は全員で「楽しもう」と言い合って舞台へ。貴重な経験ができました。

桐朋 木の香りコンサート

音楽教室に通う小中学生から、高校生・大学生・大学院生まで……桐朋で学ぶ学生・生徒が出演するコンサートです。開催予定やプログラムなどはTwitterに随時掲載していますので、ご確認ください。



@toho_kinokaori



仙川キャンパス

〒182-8510
東京都調布市若葉町 1-41-1
Tel.03-3307-4101 (代表)

仙川キャンパスは、桐朋学園宗次ホールを併設する校舎を含む2棟の校舎を備えています。どちらも隈 研吾氏デザインの木造校舎で、木ならではの快適な音環境を提供し、桐朋生に愛される学び舎として定着しています。高校生と大学生が学年の垣根を越えて学ぶキャンパスは、様々な楽器の音や人の声が混ざり合い、活気あふれる交流の空間を生み出しています。



- 1 隈 研吾氏によるデザイン
- 2 木のぬくもりを感じられる教室
- 3 憩いの場となる学生ホール

仙川図書館

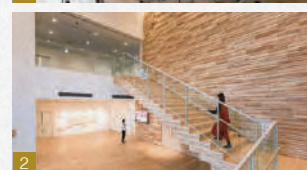
広々とした明るい図書館には、桐朋生の学びに欠かせない図書、楽譜、学内演奏会、映像資料が並び、2万点以上の資料をすぐに利用できます。ノートPCの貸出や、専門知識を備えた図書館員のレファレンスを通じて、図書館での学びをサポートします。



桐朋学園宗次ホール

〒182-8510
東京都調布市若葉町 1-41-1
Tel.03-3307-4101 (代表)

仙川キャンパスH館は、講義室、レッスン室、そして専用の音楽ホールである桐朋学園宗次ホールで構成されています。このホールは、最大客席数234席と小ぶりながら、フルオーケストラを収容できる広いステージを備えています。ホールにはCLTと呼ばれる木材が使用され、森の中にいるような空間に柔らかな音が広がります。



- 1 大きな窓から光が入る教室
- 2 CLTが印象的なエントランス
- 3 音の響きにこだわった音楽ホール



調布キャンパス

〒182-0021
東京都調布市調布ヶ丘 1-10-1
Tel.042-444-7055 (代表)

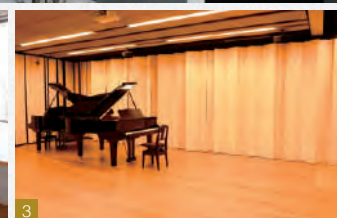
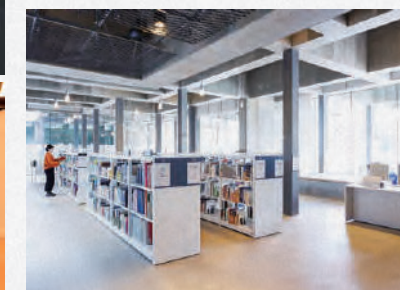
調布キャンパスは、主に大学院生のための研究施設として、高校生・大学生の活動拠点である仙川キャンパスと対をなす学び舎になっています。地下部分には図書館施設が入り、1階には読書をしながらか飲食できるスペースが設けられています。動的な仙川キャンパスに対し、スタティックな調布キャンパスは、院生たちが落ち着いて研究できる環境を提供します。



- 1 日建設計・山梨 知彦氏らによるデザイン
- 2 2階廊下には窓の大きな休憩スペース
- 3 響きを良くする木板が設置された教室

調布図書館

図書館の1階部分は学生ホールとシームレスにつながり、食事や談話をしながら図書や雑誌を読む開放的な空間です。地下部分は5万点以上の楽譜や図書を所蔵し、調査や研究に集中できるスペースになっています。自動貸出機でいつでも資料の貸出が可能です。



アネックス

〒182-8510
東京都調布市若葉町 2-19-47

仙川キャンパスから徒歩約10分の場所に、音響面、デザインともに高い評価を受けている「アネックス」があります。大小様々な広さの15室を有し、主にレッスンで使用されています。



学生会館

調布市調布ヶ丘
(京王線調布駅より徒歩約15分)

遠方に住む女子学生・学生のための居住施設です。各住戸は防音設備付きの洋室となっていて、練習や勉強に必要な諸条件を確保する他、管理人が常駐しています。詳細は本学ホームページをご覧ください。



📍 仙川キャンパス・調布キャンパス
保健室・学生相談室

桐朋生の皆さんが安心して充実した学校生活を送れるよう、保健スタッフもサポートします。保健室には看護師が常駐し救急対応と健康相談を行い、学生相談室では学校生活に関する様々な相談に応じます。病気や障がいのために特別な配慮を必要とする方も、こちらでご相談ください。

Next stage

【桐朋生の進路・進学】

音楽を究め続ける人生の先には、これからも様々な選択肢があります。桐朋学園では、留学をはじめ、進路や進学について学生一人ひとりに寄り添いサポートしています。

高校卒業後の進路 …… 45	大学院への進学 …… 48
大学卒業後の進路 …… 46	特待生・奨学金制度 …… 49
留学について …… 47	入試情報 …… 50

Next stage

高校卒業後の進路

桐朋学園大学への進学その他、 実技に特化したコースへの道も

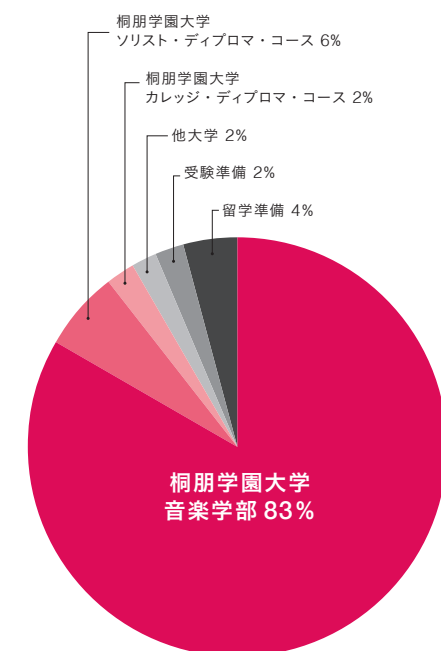
桐朋学園では、高校から大学まで一貫した音楽教育を実践しています。大多数の生徒が指定校推薦制度で桐朋学園大学音楽学部への進学を希望し、ソリスト・ディプロマ・コースやカレッジ・ディプロマ・コースなどの実技に特化したコースに進学する生徒もいます。他にも、留学や他大学への進学を選択する生徒もいます。

桐朋学園大学音楽学部への推薦基準

桐朋女子高等学校音楽科を卒業見込みの者で、桐朋女子高等学校校長が推薦し、次の要件を満たす者。

- ・ 高校在学中の授業および実技レッスン（副科ピアノ、理論科ピアノなども含む）への出席が良好で、常日頃より勉学の意欲を持つ者。
- ・ 素行、生活態度が桐朋学園大学音楽学部へ推薦するに相応しいこと。
- ・ 卒業に必要な科目の単位をすべて修得する見込みであり、次の科目については、高校3年次に一定以上の成績を修めていること。
【専門実技／聴音・ソルフェージュ／和声法／音楽史】

▶ 2023 年度の卒業生進路 (卒業生 48 名)



Other course

桐朋独自の多様な学び場

▶ ソリスト・ディプロマ

受験資格：中学校卒業以上の者

ピアノ、ヴァイオリン、チェロ、フルートにおいて、ソリストとしての将来性を有すると認められた者を対象に、実技の重点的教育を行うことを目的としたコースです。

▶ オープンカレッジ「指揮コース」

受験資格：高等学校卒業以上の者

桐朋学園大学の指導陣による「指揮実技」のレッスンを年間24回受講することができるコースです。

▶ 研究生

受験資格：大学音楽学部卒業以上の者

音楽大学の卒業生で、さらに実技の研究を深めたい者のために設置されています。

設置専攻 管楽器／打楽器／ハープ／古楽器／指揮／作曲／音楽学

▶ カレッジ・ディプロマ

受験資格：高等学校卒業以上の者

実技を中心とした自由で高度な専門教育を行うコースです。生涯学習やダブルスクールの場も提供しています。

▶ 科目等履修生

受験資格：高等学校卒業以上の者

学科系の講座の単位修得を目的として受講するコースです。実技は受講できません。

※詳細は本学ホームページ
(<https://www.tohomusic.ac.jp/>)
をご覧ください。

大学卒業後の進路

さらなる研鑽を積むために
多くの学生が進学を選択

5割近い学生が桐朋学園の大学院や研究科、桐朋オーケストラ・アカデミーへ進学する他、新たな活動拠点を求めて海外留学する学生も多数います。また、桐朋で学んだ専門性を生かし、教育・学習支援機関や音楽関連企業などへ就職する学生もいます。

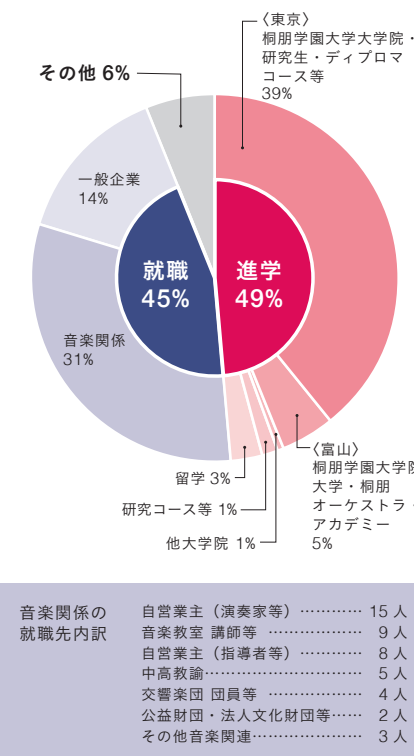
桐朋オーケストラ・アカデミー

プロのオーケストラ・プレイヤーの育成を目的とした研究機関で、弦・管・打楽器奏者を主な対象としています。富山市との連携による演奏会や、大学院大学との共同企画、海外留学生との交流など、多彩な活動を行っています。



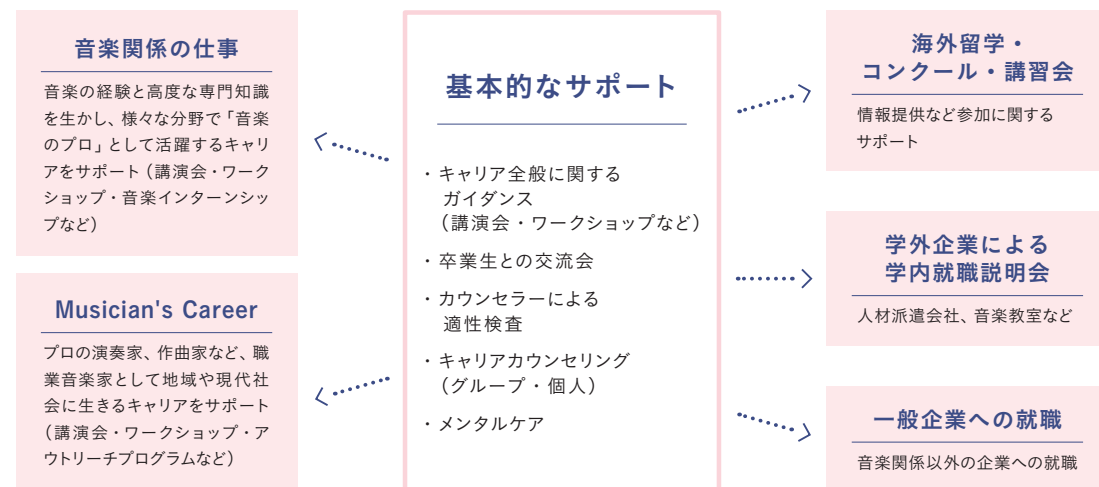
富山キャンパス
〒930-0138 富山県富山市呉羽町1884-17

▶ 2022 年度の進学就職者実績 (卒業生148名)



キャリアサポート

選択肢を絞るのではなく、可能性を広げる——それが、桐朋のキャリア支援の理念です。
幅広い視野を身につけ、自分自身とじっくり向き合い、世界でたったひとつの、あなたならではの人生を開拓してください。
キャリア支援センターでは、その模索と実現を後押しすべく、それぞれの未来に目を向けたアドバイスを行っています。



留学について

個々の主体性を尊重する、
目的に合わせた留学支援

音楽家を志したときから、留学を視野に入れている人も多いのではないのでしょうか。桐朋学園では一人ひとりの目的に合った留学が計画できるように有益な情報を提供しています。高校から大学院までの間でいつ留学するかはその人次第です。それぞれのタイミングで海外へ向かう桐朋生をサポートします。

留学するために

在学中に1～2週間の短期留学で情報収集をしたり、セミナーや音楽祭で出会った音楽家へアプローチしたりと、留学先や師事する先生の選び方は様々です。本学では、海外を拠点に活躍する卒業生の人脈や、留学経験を持つ講師や身近な先輩からも情報を得ることができます。また、サンタ・チェチーリア音楽院、ケルン音楽大学、デトモルト音楽大学との短期交換留学制度もあります。

留学先（2022～2023年度実績）

イモラ音楽院、ウィーン国立音楽大学、ウィーン国立音楽大学大学院、カールスルーエ音楽大学、コルバーン・スクール、パリ国立高等音楽院、ハンス・アイスラー音楽大学、フランクフルト音楽・舞台芸術大学、ベルリン芸術大学、モーツァルトテウム音楽大学、モスクワ音楽院、ローザンヌ高等音楽院 他

先生選び

先生からの推薦や、卒業生や先輩からの紹介、特別レッスンの招聘教授など、師事したい先生を選びます。

情報収集

パスポートやビザの準備をはじめ、ホームステイ先・寮・アパートなどの生活拠点について情報を収集します。

コンタクト

師事したい先生や学校への推薦状の用意、願書の添削などのサポートを受けながら留学先にコンタクトを取ります。

▶ 留学

留学中の先輩の声



留学先：
パリ国立高等音楽院（フランス）
谷口 知聡さん
桐朋女子高等学校 音楽科（男女共学）
ピアノ専門 2017年卒業
桐朋学園大学 音楽学部
ピアノ専攻 2021年卒業
フロラン・ボファール氏に師事
滞在期間：2021年9月～現在

国際都市で世界に触れる

現代音楽作品の演奏に携わりたいという強い希望があり、この分野での教育環境が整った学校を留学先を選びました。世界中から芸術家が集まるこの場所では、ときに彼らの母国での悲惨な体験を知る機会もあります。桐朋で高校からフランス語を学んだことが役立っていますが、語学だけでなく世界の問題について学ぶ必要性を感じます。



留学先：
ベルリン芸術大学（ドイツ）
古澤 香理さん
桐朋女子高等学校 音楽科（男女共学）
弦楽器専門（ヴァイオリン）
2017年卒業
マーク・ゴトーニ氏に師事
滞在期間：2017年10月～現在

“教えない”先生から学ぶ

ゴトーニ先生は「教えずに教える先生」という感じですが、毎回大切な何かを教わっていることは確かです。生徒が自ら成長することを促してくれる先生で、留学してから音楽に対する見方が変わりました。ドイツ語での授業は大変ですが、ソルフェージュや楽典などで何ひとつ苦労しなかったのは、桐朋で鍛えられたおかげです。

大学院への進学

より深く、洗練された 音楽知識と技能の習得を目指して

2017年4月、日本の音楽教育発展の先導役を担う教育・研究機関として仙川・調布両キャンパスに大学院を開設。実践的なカリキュラムを通じて、広く音楽界で活躍できる演奏家の養成、深い音楽的知識や教養を有する教育者や研究者の養成を目指します。



修士課程

標準修業年限：2年

養成しようとする人材

- ・確かな実践能力や豊かな知識をもって活躍できる演奏家

カリキュラム・ポリシー

大学院音楽研究科は、音楽実践に不可欠な高度な能力を習得し、自立した音楽活動を行うにあたって必要な能力を養うことを目的とする。その目的のために、各コースの特質に適合した教育課程を編成している。修士課程は2年以上の在学期間に、コースごとに開設される実技あるいは実習・演習などを履修し、また、学術的研究を支える関連科目を所定の範囲で履修しなければならない。学位審査は、修了演奏／作品および研究レポート、または修士論文によって行われ、合格者は修士（音楽）の学位を授与される。

ピアノコース ソロ／歌曲伴奏／コレペティツィオン

弦楽器コース ヴァイオリン／ヴィオラ／チェロ／コントラバス

声楽コース オペラ／歌曲

作曲コース

音楽学コース

博士後期課程

標準修業年限：3年

養成しようとする人材

- ・極めて高度な知識と教養及び卓越した技能を備え、音楽に関する学術的な研究を自立的に行うことができ、将来、主に高等教育機関において教育者、研究者として活躍できる人材
- ・豊かな学識に裏打ちされた実践能力によって、世界の音楽界で中枢的指導力を発揮できる人材

カリキュラム・ポリシー

専門領域における極めて高度な知識、教養、見識及び卓越した技能をもって研究及び演奏を行う能力を獲得する。修了後には高等教育機関で教育や研究に従事するために必要な問題発見能力、課題解決能力、他の専門領域や他者の知見を理解しクリティカルに検証する能力を習得する。また、教育研究を持続的に推進する人材として、社会や文化に対する広い視野と高い見識を培う。

ピアノ・弦楽器・声楽・作曲・音楽学研究領域

ピアノ・弦楽器・声楽・作曲・音楽学の5つの研究領域において、各自専門の学術研究・実技研究を実施。計画的に研究を進め、積極的に議論や発表を行うことで、音楽研究に必要な方法論や技術を習得。各自の研究成果は研究演奏や博士論文にて発表。修了までに学術研究・実技研究の一体化を目指す。

桐朋学園大学院大学 (富士市)

【音楽研究科 演奏研究専攻（修士課程）】

設置専攻 ピアノ／ヴァイオリン／ヴィオラ／チェロ

アンサンブルを重視した実技研究を特色としています。

特待生制度

特待生入学試験合格者、入学試験、または、所定の学内試験で専攻実技の成績が極めて優秀であると認められた学生に、「入学金」「運営維持費」「授業料」などの全額または一部免除をもって、これを顕彰する特待生制度を設けています。

2024 年度実績

桐朋女子高等学校	11 名	・入学金／運営維持費50万円 免除3名 ・運営維持費30万円 免除1名 ・運営維持費一部20万円 免除7名
桐朋学園大学	9 名	・入学金／授業料一部118万円 免除2名 ・運営維持費／施設設備費一部50万円 免除1名 ・運営維持費30万円 免除1名 ・運営維持費一部20万円 免除2名 ・運営維持費一部15万円 免除1名 ・運営維持費一部10万円 免除2名
桐朋学園大学大学院	7 名	・授業料／施設設備費／運営維持費145万円 免除1名 ・授業料一部50万円 免除1名 ・授業料一部30万円 免除1名 ・入学金一部20万円 免除1名 ・授業料一部20万円 免除1名 ・運営維持費10万円 免除2名
ソリスト・ ディプロマ・コース	10 名	・受講料／施設設備費100万円 免除3名 ・受講料一部50万円 免除2名 ・登録料一部20万円 免除3名 ・登録料一部15万円 免除2名
研究生	1 名	・登録料一部10万円 免除1名

奨学金制度

成績優秀者または経済的な理由により就学が困難な学生を対象に各種の奨学金制度を設け、多くの学生の勉学の支えとなっています。

桐朋独自の奨学金制度 ※すべて給付奨学金です。

01 桐朋学園音楽部門奨学金

成績が良好で心身ともに健全であり、経済的理由で就学が困難な学生・生徒に対し、1年毎に選考を行い給付されます。

2023年度 高校：授業料の4割 6名／3割 5名／1割 1名
大学：授業料の4割 17名／3割 16名／2割 18名／1割 22名
大学院：授業料の3割 1名／2割 1名／1割 4名
ソリスト・ディプロマ：授業料の1割 1名

02 桐朋学園音楽部門特別奨学金

成績の特に秀でた学生・生徒に対し給付されます。

2015年度 1名 50万円

03 桐朋学園音楽部門芸術教育整備・ 拡充資金及び奨学基金

当該年度の入学試験で、秀抜なる成績を得た学生・生徒に給付されます。

2019年度 1名 授業料一部（30万円）免除（大学院生）

04 宗次徳二桐朋学園大学 大学院特待奨学金

宗次徳二氏の寄附により設立され、成績が優秀でありながら、経済的理由のため就学が困難な本学の大学院生に給付されます。

2023年度 6名 各120万円

05 桐朋学園音楽部門同窓会奨学金

桐朋学園音楽部門同窓会から、向学心があり心身ともに健全で、経済的理由によって就学が困難な大学2年生を対象に給付されます。

2023年度 7名 各10万円

06 チェロアンサンブル・サイトウ奨学金

当該年度の入学試験で、秀抜なる評価を得たチェロ専攻の学部学生に給付されます。

2023年度 4名 各10万円
(学部生2名、ソリスト・ディプロマ生2名)

07 桐朋学園音楽部門留学支援奨学金 「江崎スカラシップ」

江崎正道氏の寄附による留学支援奨学金。大学生以上のピアノ専攻生が対象。在学中に海外高等教育機関へ留学をする者に一人当たり500万円が支給されます。

2023年度 4名 500万円

【その他の奨学金】※給付、貸与など、様々な奨学金があります。

- 日本学生支援機構奨学金
- 各都道府県・地方公共団体奨学金
- 企業、交通遺児育英会等の奨学金

Entrance exam

入試情報

本学は、以下3つをアドミッション・ポリシーとして、入学者に求める学生像の方針を定めています。

- ・音楽表現に対する能力や意欲を有し、自己の目標を持っている者
- ・音楽文化に関する知識と技量を習得し、社会の発展に貢献する意思のある者
- ・音楽文化の領域を学ぶために必要な理解力・構想力を持っている者

詳細はWebへ



▶ 夏期・冬期講習

受験準備のための講習会を、夏期と冬期に開催しています。入学試験に準じた模擬試験や、模擬試験をふまえた授業・レッスンを行いますので、ぜひ活用してください。

夏期講習

7/27～7/30

受講申し込み期間：6/1～7/1

講習科目：a.専攻実技（模擬試験、個人レッスン）
b.新曲視唱・聴音（模擬試験、授業、相談）c.楽典（模擬試験、授業、相談）d.和声【作曲・指揮のみ】（授業）e.副科ピアノ（演奏と講評）f.作曲理論ピアノ【作曲・指揮のみ】（模擬試験、個人レッスン）

12/21～12/22

受講申し込み期間：10/1～11/28

講習科目：a.専攻実技レッスン b.新曲視唱・聴音（模擬試験、授業）c.楽典（模擬試験、授業）d.和声・作曲授業【作曲・指揮のみ】e.副科ピアノ（演奏と講評）f.作曲理論ピアノ【作曲・指揮のみ】（演奏と講評）

冬期講習

募集要項		2024				2025		
		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
高校	▶ 桐朋女子高等学校 音楽科（男女共学）							
	一般入学試験 募集専門：ピアノ／弦楽器／管楽器／打楽器／ハープ／声楽／作曲 推薦第一種入学試験 募集専門：管楽器／打楽器／ハープ／声楽／作曲 推薦第二種入学試験 ※桐朋女子中、桐朋中出身者対象 募集専門：ピアノ／弦楽器／管楽器／打楽器／ハープ／声楽／作曲					願書受付 1/16 推薦（第一、二種）入学試験 試験 1/22 合格発表 1/22 願書受付 1/25～2/1 一般入学試験 試験 2/10～12 合格発表 2/14		
大学	▶ 桐朋学園大学 音楽学部		願書受付 9/18～10/3 総合型選抜（総合型入試 A 日程） 試験 10/26～27 合格発表 11/1	願書受付 10/11～16 総合型選抜（特待生）Ⅰ期 一次試験（書類審査） 二次試験 11/2 合格発表 11/13	願書受付 11/11～22 総合型選抜（特待生）Ⅱ期 ※「飛び入学試験」が同時期にあります 一次試験（書類審査） 二次試験 12/18 ピアノ、12/19 弦楽器 合格発表 12/20	願書受付 1/4～15 一般選抜（一般・編入） 試験 2/6～10 合格発表 2/14		
	一般選抜（一般・編入・オンライン） 募集専攻：ピアノ／弦楽器／管楽器／打楽器／ハープ／古楽器／声楽／指揮／作曲／ミュージコロジー（旧・音楽学） 総合型選抜（総合型入試 A 日程） 募集専攻：ピアノ／弦楽器／管楽器／打楽器／ハープ／古楽器／声楽／指揮／作曲／ミュージコロジー（旧・音楽学） 総合型選抜（特待生） 募集専攻：ピアノ／弦楽器 飛び入学試験 ※高校2年次修了から大学へ。 募集専攻：ピアノ／弦楽器 ※学校推薦型選抜（指定校）も別途実施しています。					願書受付 1/4～15 一般選抜（オンライン） 試験 2/17～18 合格発表 2/18		
大学院	▶ 桐朋学園大学大学院 音楽研究科（修士課程・博士後期課程）		願書受付 10/11～16 修士課程 ※「特別入試」が7月～9月にあります 試験 11/2～3 合格発表 11/13			願書受付 1/4～15 博士後期課程 試験 2/3～4 合格発表 2/5		
ディプロマ	▶ ソリスト・ディプロマ・コース							
	ソリストとして将来性を有すると認められた者を対象に高度な実技教育を目的としたコースです。 募集専攻：ピアノ／ヴァイオリン／チェロ／フルート 受験資格：中学校卒業以上							
ディプロマ	▶ カレッジ・ディプロマ・コース							
	実技を中心とした教育を受けるコースとして設置され、幅広い年齢層の学生が在籍しています。 募集専攻：ピアノ／弦楽器／管楽器／打楽器／ハープ／古楽器／声楽／指揮／作曲／ミュージコロジー（旧・音楽学） 受験資格：高等学校卒業以上			願書受付 11/11～22 ソリスト・ディプロマ・コース 試験 12/18 ピアノ、12/18～19 ピアノ以外 合格発表 12/20			願書受付 2/7～19 カレッジ・ディプロマ・コース 試験 2/27～28 合格発表 3/7	

▶ 次年度(2025年度)入試より入学試験制度に変更があります。詳しくは本学のホームページをご覧ください。

Access Map

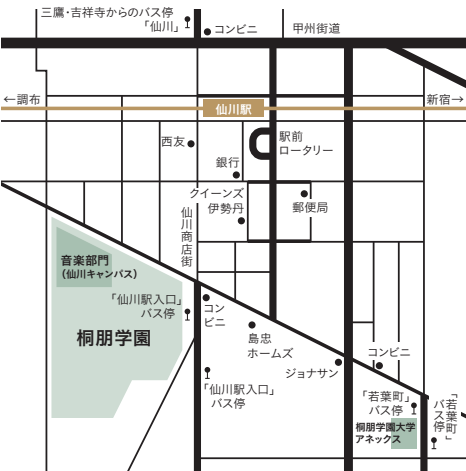
アクセスマップ

仙川キャンパス

〒182-8510 東京都調布市若葉町1-41-1
TEL.03-3307-4101 (代表) FAX.03-3307-4354

- ・京王線「仙川駅」より徒歩約5分
- ・小田急線「成城学園前駅」よりバス約15分
- ・JR中央線「吉祥寺駅」よりバス約25分
- ・JR中央線「三鷹駅」よりバス約30分

▶ 仙川駅からのご案内

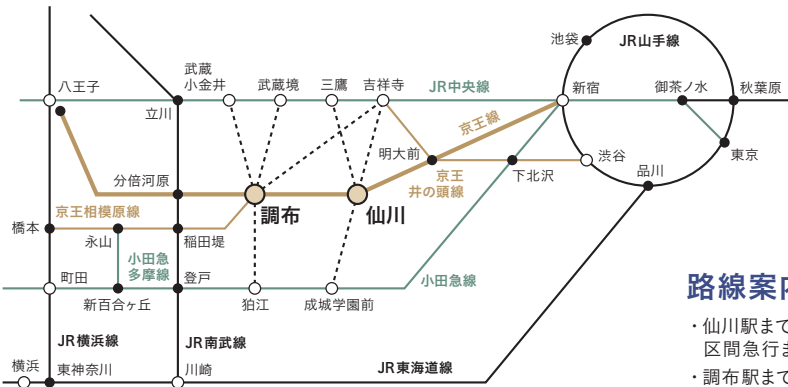
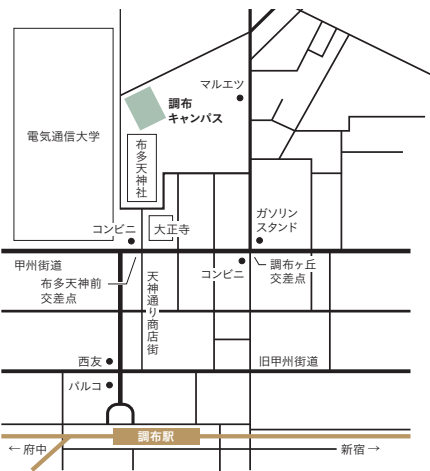


調布キャンパス

〒182-0021 東京都調布市調布ヶ丘1-10-1
TEL.042-444-7055 (代表) FAX.042-444-7056

- ・京王線「調布駅」より徒歩約10分

▶ 調布駅からのご案内



路線案内

- ・仙川駅まで京王線「新宿駅」より
区間急行または快速で約18分
- ・調布駅まで京王線「新宿駅」より特急で約18分

本学ホームページはこちら ▶ <https://www.tohomusic.ac.jp/>

